

JHL NEWS

No. 9

2010年11月1日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎がプレーオフ進出決定、北國も首位を堅持

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第8週～

第35回日本ハンドボールリーグ第8週は10月30、31日に石川などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子では大崎電気が北陸電力に快勝して全勝をキープ、翌日のトヨタ紡織九州-トヨタ車体が引き分けたことで早々とプレーオフ進出を決めた。第2クールが終了した女子は北國銀行が首位を堅持しているが、上位4チームが激しく競り合う形となっている。

男子の大崎-北電戦は、大崎が石川、北電は高橋を中心に得点を重ね、前半20分過ぎまでは一進一退の攻防が続いた。このあと大崎は宮崎と岩永を投入して本来のスピーディな攻撃を取り戻すと、宮崎のカットインからのミドルシュートなどで一気に流れを引き寄せた。16-10とリードして後半を迎えた大崎は、スピードのある多彩なセットプレーから、東長濱のミドルシュートや内田のサイドシュートなどで着実に加点。北電も桜井のミドルシュートで必死に反撃するも大崎・GK東の好守の前にゴールが遠く、さらにリードを広げた大崎が開幕9連勝を飾った。

大同-豊田合成戦は、前半10分まで合成の3:2:1ディフェンスが機能し、3-3のロースコアのスタート。しかし、大同は合成・中村の退場を機に末松らの速攻でスパートをかけ、6連続得点で17分10-3と水をあけた。合成も今村のカットインシュートやGK藤田のファインセーブで反撃するも大同の勢いは止まらず、18-8と大同10点リードで前半が終了。後半に入って8分から合成が中島、今村の活躍で3連取したが、大同も負けじと末松、浦田の速攻で突き放し、31-23で試合終了。大同・末松が通算700得点を達成し、勝利に花を添えた。

紡織-車体戦は、スタートから両チームの活発な打ち合いが続き、門山、鶴谷らで加点した車体が、藤山、呉らで応戦する紡織に15-14と1点差をつけて前半を折り返した。後半も車体・門山のシュート、紡織・鈴木のサイドシュートが決まり目の離せないシーソーゲームが続いた。紡織は後半23分に石黒のシュートで28-28の同点に追いつくが、28分には村上(秀)が2分間退場。この間に車体が得点して残り1分に32-30と2点リード。すかさずタイムアウトをとった紡織は29分14分に呉が決めて1点差、さらに終了直前に鈴木シュートが決まり、32-32の同点で終了のブザーが鳴った。4位の紡織にとって勝ちに等しい引き分けだった。

女子の北國-三重戦は、前半11分過ぎから樋口の活躍で先行した北國に対し、このあと三重は北國に退場者が続く間に伊藤らで加点、18分8-7と逆転した。しかし、横嶋の3得点を含む6連取で態勢を立て直した北國が14-10とリードして前半終了。後半も北國の堅守とスピーディな攻撃は衰えることなく、横嶋のポストシュート、中村の速攻などで点差を広げて完全に主導権を握った。三重も毛利が3本の7mスローを阻止するなど必死に応戦したが、後半20分過ぎには脚が止まり、点差を詰めることができなかった。なお三重・伊藤が通算300得点をマークした。

注目のソニー-広島戦は、ソニーが素早い展開のセット攻撃で加点するのに対し、広島はディフェンスからマイボールにするや、一次速攻、二次速攻と走りまくって得点を重ね、スピード感あふれるスリリングな展開となった。前半は17-15とソニーが2点リード。後半に入り、ソニーが4点差をつけたが、広島は植垣らで5連取し、16分26-25と逆転に成功した。ソニーも高橋の速攻などで応戦し、20分27-27の同点。さらにソニーは広島・呉ヘマンツーマンディフェンスを仕掛け、25分過ぎから高橋らの3連取などで広島を突き放し32-28で勝利した。(2ページへ続く)



④上位争いに踏みとどまったトヨタ紡織九州・海道⑤
2位の座を死守したソニーセミコンダクタ九州・高橋

第9週の日程

12月4日(土)	愛知	稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	14:00~	(男)	豊田合成	×	北陸電力
	広島	中区スポーツセンター(広島電鉄広電本社前駅徒歩3分)	14:00~	(男)	湧永製薬	×	大同特殊鋼
	宮崎	小林市市民体育館(JR吉都線小林駅徒歩10分)	16:00~	(男)	トヨタ車体	×	大崎電気
	沖縄	東風平運動公園体育館(那覇バスターミナルより沖縄バス34番で「県営屋宜原団地前」下車徒歩15分)	13:30~	(男)	琉球コラソン	×	トヨタ紡織九州

オムロン、湧永が地力示す

10月30日、熊本での女子・オムロン-HC名古屋戦は、前半15分過ぎまで名古屋が射程距離で粘ったものの、地力に優るオムロンが、17分、9-7と2点リードの場面から、藤井の7mスローを皮切りに、後半4分過ぎまで14連取、早々に勝負を決めたオムロンが、37-11で快勝。無難に6勝目をあげた。

31日、高知での男子・湧永製薬-琉球コロン戦は、堅い守りから新らで着実に得点に結びつけた湧永が、足をフルに動かして対抗する琉球の挑戦を退け、6勝目をマークした。

リーグは11月13日から中国で開かれるアジア大会のためのブレイク期間に入る。再開は男子が12月4日(第9週)から。女子はアジア選手権(カザフスタン)も控えるため、来年2月5日(第11週)からとなる。なお、女子は11月19~21日に広島県・東区スポーツセンターで強化キャンプが予定されている。

◆ 10月30日(土) 男子
石川・金沢市総合体育館

大崎電気	38 (16-10)	25	北陸電力
9勝0分0敗	22-15	1勝1分7敗	
4/5 小澤	高橋	4/8	
1/4 前田	神田	3/9	
4/4 畑山	切越	4/6	
1/1 6/9 東長濱	桜井	3/7 1/2	
0/0 永島	前田	0/0	
2/3 横地	高田	2/3	
<0/1> K 東	杉山	0/0	
2/2 森	落合	5/10	
1/1 岩永	石塚	0/0	
0/0 夏山	廣瀬	K <0/1>	
3/3 内田	山原	3/5	
7/10 石川	有江	K	
<1/1> K 吉田	櫛田	0/0	
7/10 宮崎			

1/1 37/51 3(FPP)11 24/48 1/2
審判(桶家・魚川) 観客 1036人

◆ 10月30日(土) 男子
愛知・豊田合成(株)健康管理センター

大同特殊鋼	31 (18-8)	23	豊田合成
8勝0分1敗	13-15	0勝0分9敗	
<0/1> K 田中	榊原	0/0	
2/4 野村	原	0/1	
9/13 末松	野田	0/3 3/3	
2/2 4/7 浦田	大橋	0/0	
1/1 4/7 地引	桶谷	4/5	
7/9 武川	中島	6/11	
2/5 岸川	森光	0/1	
K 高木	加藤	0/0	
0/2 山城	藤田	K <0/2>	
<0/2> K 東	今村	8/15	
0/2 熊谷	中村	2/2	
0/0 下村	仲芳	0/6	
0/0 松永	藤堂	K <0/1>	
0/0 渡久川	米本	0/1	

3/3 28/49 6(FPP)13 20/45 3/3
審判(北嶋・比留間) 観客 639人

◆ 10月31日(日) 男子
高知・高知県民体育館

湧永製薬	33 (15-6)	17	琉球コロン
6勝0分2敗	18-11	2勝1分6敗	
K 志水	久高	2/2	
4/5 谷村	村山	4/9 1/1	
3/3 木村	水野	4/6	
4/4 坂本	栗崎	3/3	
1/1 0/2 山中	池田	0/1	
0/0 福田	内田	K <0/1>	
1/1 1/1 佐藤	名嘉	0/3	
0/3 名嘉	内山	2/7	
1/1 3/3 樋口	石田	K <0/1>	
8/10 新	水野	1/8	
3/3 今井			
<0/1> K 松村			
3/4 古家			
2/6 東長濱			

2/2 31/44 5(FPP)3 16/39 1/1
審判(野島・石原) 観客 637人

◆ 10月31日(日) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

トヨタ紡織九州	32 (14-15)	32	トヨタ車体
4勝1分3敗	18-17	3勝1分5敗	
<0/1> K 松野	石戸	0/0	
3/4 中島	佐々木	1/3	
0/0 西端	高智	3/5	
0/0 上田	藤田	2/4	
0/0 松信	木切倉	1/1	
1/3 村上秀	北出	2/3	
6/12 呉相民	富谷	3/3	
0/0 佐久間	鶴谷	3/4	
2/4 海道	坪根	K <0/1>	
K 谷川	香川	0/0	
0/0 藤本	崎前	1/2	
8/8 鈴木	銘苺	3/5 1/1	
1/1 9/11 藤山	甲斐	K	
2/4 石黒	門山	12/15	

1/1 31/46 9(FPP)7 31/45 1/1
審判(池淵・檜崎) 観客 642人

◆ 10月30日(土) 女子
石川・金沢市総合体育館

北國銀行	28 (14-10)	17	三重バイオレットアイリス
8勝0分2敗	14-7	1勝0分9敗	
<1/3> K 寺田	浅井	K <2/2>	
0/0 若泉	横川	2/2	
2/2 鰻場	戎野	3/3	
1/5 5/11 樋口	宮下	2/8	
2/2 佐久川	石坂	1/8	
0/1 0/1 川井	飯田	0/1	
3/3 中村	毛利	K <3/4>	
7/10 横嶋	星野	3/6	
2/3 野路良	小川	0/0	
0/3 翁長	伊藤	4/10 2/3	
0/1 田代			
2/3 井上			
3/5 若松			
1/4 屋嘉			

1/6 27/48 9(FPP)9 15/38 2/3
審判(大石・桜打) 観客 752人

◆ 10月30日(土) 女子
熊本・人吉スポーツパレス

オムロン	37 (18-7)	11	HC名古屋
6勝1分3敗	19-4	1勝0分9敗	
K 藤間	近藤	K <0/3>	
5/5 城内	池田	1/3	
6/8 高田	伊藤	0/0	
0/0 巻	高橋	0/0	
3/3 稲葉	鈴木	3/8 1/1	
2/2 1/1 吉田祥	菅谷	1/8	
4/4 4/10 藤井立	阪本	2/3	
1/4 石井	外本	2/6	
0/1 吉田薫	上野	0/0	
0/3 久野	高橋玲	0/2	
2/3 永田	家城	K <0/3>	
<0/1> K 山中	秋山	1/1	
3/4 前田	横井	0/0	
6/8 東濱	井本	0/0	

6/6 31/50 5(FPP)6 10/31 1/1
審判(亀井・堀川) 観客 480人

◆ 10月30日(土) 女子
鹿児島・霧島市国分体育館

ソニーセミコンダクタ九州	32 (17-15)	28	広島メイプルレッズ
7勝1分2敗	15-13	5勝2分3敗	
<3/4> K 中島	堂面	K <1/7>	
1/4 郭惠静	土屋	2/2	
2/10 長野	村山	0/0	
5/6 5/7 高橋	河田	0/0	
5/7 田中	大前	4/4	
0/0 山田	植垣	9/14 2/5	
1/1 5/6 高栖	菅野	3/6	
0/0 川崎	早川	0/0	
5/5 黒木	呉成玉	3/5	
<0/1> K 飛田	安齋	0/0	
0/0 石井	伊藤	1/1	
0/0 古川	新城	4/5	
0/0 錦織	石原	K	
3/6 張素姫	青戸	0/0	

6/7 26/45 13(FPP)15 26/37 2/5
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 905人

第2回チャレンジ・ディビジョン

第2回チャレンジ・ディビジョンが10月31日に東西両地区で行われ、東地区は大同大学と中部大学が開幕戦を勝利で飾り、第2節を迎えた西地区はHondaが2連勝、HC・MKAは初勝利をものにした。

このあと1月29日までの総当たりリーグ(ともに5チームが参加)を終えたあと、2月5、6日に最終順位決定戦が行われる。

〈東地区・トヨタ車体吉原体育館〉

大同大学 26 (10-10) 20 (1勝) H C 春日井 (1敗)

中部大学 34 (21-9) 25 (1勝) トヨタ自動車 (1敗)

〈西地区・神戸国際大学体育館〉

HC・MKA 28 (10-15) 23 (1勝1敗) 八光自動車 (1敗)

H o n d a 28 (13-11) 21 (2勝) 徳山クラブ (1勝1敗)

男女個人ランキング 第8週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	61点	(9試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	86点	(10試合)
2 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	54点	(8試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	85点	(10試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼)	54点	(9試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	65点	(10試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	54点	(9試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	61点	(10試合)
5 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	53点	(8試合)	5 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点	(10試合)
6 東長濱 秀希 (大崎電気)	52点	(9試合)	6 高栖 由香 (ソニー)	45点	(10試合)
7 野田 祐希 (豊田合成)	49点	(9試合)	6 上町 史織 (北國銀行)	45点	(6試合)
7 武田 享 (大同特殊鋼)	49点	(9試合)	8 田中 美音子 (ソニー)	43点	(10試合)
9 新建 二 (湧永製薬)	48点	(8試合)	8 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点	(10試合)
10 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	47点	(8試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	41点	(10試合)
11 小澤 広太 (大崎電気)	45点	(9試合)	11 東濱 裕子 (オムロン)	39点	(10試合)
12 東長濱 秀作 (湧永製薬)	44点	(8試合)	12 高田 裕梨 (オムロン)	38点	(10試合)
13 高田 匠 (琉球コラソン)	43点	(8試合)	12 張 素姫 (ソニー)	38点	(10試合)
14 落合 信也 (北陸電力)	42点	(9試合)	12 長野 かづさ (ソニー)	38点	(10試合)
15 門山 哲也 (トヨタ車体)	40点	(8試合)	15 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	37点	(10試合)
15 中島 晋太郎 (豊田合成)	40点	(9試合)			

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	61点	(9試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	64点	(10試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	54点	(9試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	56点	(10試合)
3 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	52点	(8試合)	3 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点	(10試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	51点	(9試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	46点	(10試合)
5 武田 享 (大同特殊鋼)	49点	(9試合)	5 高栖 由香 (ソニー)	44点	(10試合)
6 新建 二 (湧永製薬)	47点	(8試合)	6 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点	(10試合)
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	47点	(8試合)	7 高橋 恵 (ソニー)	42点	(10試合)
6 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	47点	(8試合)	7 田中 美音子 (ソニー)	42点	(10試合)
9 小澤 広太 (大崎電気)	45点	(9試合)	9 横嶋 かおる (北國銀行)	41点	(10試合)
10 高田 匠 (琉球コラソン)	43点	(8試合)	10 東濱 裕子 (オムロン)	39点	(10試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 小澤 広太 (大崎電気)	45点/ 59射 0.763	1 高栖 由香 (ソニー)	44点/ 55射 0.800
2 新建 二 (湧永製薬)	47点/ 64射 0.734	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点/ 62射 0.742
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	47点/ 71射 0.662	3 高橋 恵 (ソニー)	42点/ 61射 0.689
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	61点/ 97射 0.629	4 横嶋 かおる (北國銀行)	41点/ 67射 0.612
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	47点/ 80射 0.588	5 田中 美音子 (ソニー)	42点/ 76射 0.553
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	51点/ 90射 0.567	6 藤井 紫緒 (オムロン)	46点/ 98射 0.469
7 今村 彰伸 (豊田合成)	54点/ 97射 0.557	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	64点/ 141射 0.454
8 武田 享 (大同特殊鋼)	49点/ 89射 0.551	8 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	56点/ 125射 0.448
9 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	52点/ 102射 0.510	9 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点/ 98射 0.439
10 高田 匠 (琉球コラソン)	43点/ 101射 0.426	10 東濱 裕子 (オムロン)	39点/ 96射 0.406

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成)	15点	(9試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	29点	(10試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	13点	(9試合)	2 高橋 恵 (ソニー)	23点	(10試合)
3 桜井 渉 (北陸電力)	12点	(9試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	22点	(10試合)
4 村山 裕次 (琉球コラソン)	11点	(9試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	18点	(6試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	7点	(8試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	15点	(10試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気)	5本/ 12射 0.417	1 藤間 かおり (オムロン)	12本/ 29射 0.414
2 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 11射 0.364	2 中島 亜樹 (ソニー)	12本/ 31射 0.387
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	3本/ 11射 0.273	3 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	6本/ 19射 0.316
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	2本/ 10射 0.200	4 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	5本/ 17射 0.294
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	2本/ 13射 0.154	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	7本/ 25射 0.280

第 35 回 日本ハンドボールリーグ成績表 第8週終了 10月31日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	北陸電力	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	9	9	0	0	18	332	267	65
2	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	○	○	○	9	8	0	1	16	257	215	42
3	湧永製薬	●	●	○	○	○	○	○	○	8	6	0	2	12	224	195	29
4	トヨタ紡織九州	●	●	○	○	○	○	○	○	8	4	1	3	9	261	239	22
5	トヨタ車体	●	●	●	△	○	○	○	○	9	3	1	5	7	265	259	6
6	琉球コラソン	●	●	●	●	●	○	△	○	9	2	1	6	5	222	280	-58
7	北陸電力	●	●	●	●	●	△	○	○	9	1	1	7	3	213	263	-50
8	豊田合成	●	●	●	●	●	●	●	○	9	0	0	9	0	241	297	-56

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	オムロン	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	10	8	0	2	16	255	208	47
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	●	△	○	○	10	7	1	2	15	302	236	66
3	オムロン	●	○	○	△	○	○	10	6	1	3	13	266	195	71
4	広島メイプルレッズ	●	●	△	○	○	○	10	5	2	3	12	295	238	57
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	10	1	0	9	2	227	311	-84
6	HC名古屋	●	●	●	●	●	○	10	1	0	9	2	166	323	-157

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。